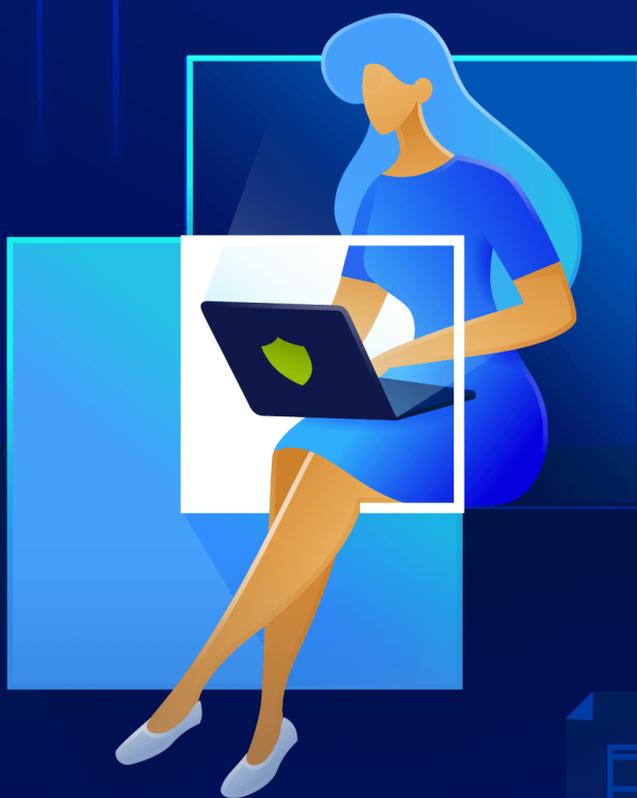


Acronis

acronis.com

Acronis True Image for SANDISK



目次

はじめに	5
Acronis True Image for SANDISK とは	5
システム要件	5
Acronis True Image for SANDISK のインストールとアンインストール	7
Acronis True Image for SANDISKの有効化	8
Acronis True Image for SANDISK のアップグレード	8
アプリケーションの基本設定	9
キーボードショートカット	9
Touch Barとの統合	10
テクニカル サポート	11
バックアップ	12
基本的な概念	12
バックアップ可能な対象と不可能な対象	13
ローカルストレージまたはネットワークストレージへのバックアップ	13
スケジュール設定	16
(IntelベースのMacでのみ利用可能な) Mac Power Napを使用するには	17
バックアップの暗号化	17
バックアップとバックアップバージョンのクリーンアップ	18
既存のバックアップをリストに追加する	18
接続設定	19
バックアップアクティビティと統計	20
[アクティビティ] タブ	20
[バックアップ] タブ	20
ラップトップ電源の設定	21
通知	22
macOS 通知センターでの通知	22
Acronis Tray Notification Center での通知	22
Parallels Desktopのサポート	22
Parallels Desktopとは	22
Acronis True Image for SANDISK では Parallels Desktop 仮想マシンがどのように処理されるの ですか?	23
どのように動作しますか?	23
どの仮想マシンがバックアップされますか?	23
仮想マシンをリカバリするにはどうすればよいですか?	23
制限	23

バックアップリスト	24
バックアップの状態	24
リスト内でのバックアップの並べ替え	25
ブータブルメディアの作成	26
Acronis ブータブルメディア の作成	26
リカバリ	28
Mac をリカバリするタイミング	28
Mac のリカバリ	28
Boot Camp パーティションに関する FAQ	30
ファイルとフォルダのリカバリ	30
バックアップの内容の検索	31
ファイルリカバリオプション	32
ディスクのクローン作成	33
ディスクのクローン作成ユーティリティ	33
ディスクのクローンを作成	34
Fusion Drive のクローン作成	35
2 台の Mac の接続	36
保護	37
[保護] ダッシュボード	37
Active Protection	37
ランサムウェア対策保護	37
Active Protection の設定	38
索引	39

著作権情報

© Acronis International GmbH, 2003-2026. All rights reserved.

ユーザーズ ガイドに掲載されているすべての商標や著作権は、それぞれ各社に所有権があります。

著作権者の明示的許可なく本書を修正したものを配布することは禁じられています。

著作権者の事前の許可がない限り、商用目的で書籍の体裁をとる作品または派生的作品を販売させることは禁じられています。

本書は「現状のまま」使用されることを前提としており、商品性の黙示の保証および特定目的適合性または非違反性の保証など、すべての明示的もしくは黙示的条件、表示および保証を一切行いません。ただし、この免責条項が法的に無効とされる場合はこの限りではありません。

本ソフトウェアまたはサービスにサードパーティのコードが付属している場合があります。サードパーティのライセンス条項の詳細については、ルート インストール ディレクトリにある license.txt ファイルをご参照ください。ソフトウェアまたはサービスで使用されているサードパーティコードおよび関連ライセンス条件の最新の一覧については <https://kb.acronis.com/content/7696> (英語) をご参照ください

Acronis の特許取得済みの技術

この製品で使用されている技術は、以下の番号の 1 つ以上の米国特許によって保護されています。

7,047,380号、7,246,211号、7,275,139号、7,281,104号、7,318,135号、7,353,355号、7,366,859号、7,383,327号、7,475,282号、7,603,533号、7,636,824号、7,650,473号、7,721,138号、7,779,221号、7,831,789号、7,836,053号、7,886,120号、7,895,403号、7,934,064号、7,937,612号、7,941,510号、7,949,635号、7,953,948号、7,979,690号、8,005,797号、8,051,044号、8,069,320号、8,073,815号、8,074,035号、8,074,276号、8,145,607号、8,180,984号、8,225,133号、8,261,035号、8,296,264号、8,312,259号、8,347,137号、8,484,427号、8,645,748号、8,732,121号、8,850,060号、8,856,927号、8,996,830号、9,213,697号、9,400,886号、9,424,678号、9,436,558号、9,471,441号、9,501,234号、および出願中特許。

はじめに

Acronis True Image for SANDISK とは

Acronis True Image for SANDISK とは、オペレーティングシステム、アプリケーション、設定、すべてのデータなど、お使いの Mac の情報をすべて保護するアプリケーションです。

Mac を保護するには、2 つの簡単な操作を実行する必要があります。

1. Mac の完全バックアップを作成する

これにより、オペレーティングシステムファイルとすべてのデータが「バックアップ」という名前のファイルに保存されます。このファイルは、ローカルまたはネットワークストレージに保管できます。「[ローカルまたはネットワークストレージへのバックアップ](#)」を参照してください。

2. Acronis ブータブルメディアを作成します。

これは、ブートファイルが格納されているリムーバブルドライブです。Mac が起動できなくなった場合は、このメディアによって、Acronis のリカバリ環境を起動し、バックアップを使用して、正常な状態に Mac をロールバックできます。詳細については、[Acronis ブータブルメディアの作成](#)を参照してください。

この 2 つの手順を実行することで、macOS の修復、および見つからなくなったドキュメントのリカバリを数分で実行できるようになります。

主な機能:

- 選択したディスクまたは Mac 全体の内容のローカルストレージまたはネットワークストレージへのバックアップ
- 選択したファイルおよびフォルダのローカルストレージまたはネットワークストレージへのバックアップ
- Acronis ブータブルメディアの作成
- ブータブルメディア環境での macOS のリカバリ
- macOS での特定のファイルやフォルダのリカバリ

システム要件

サポートされるオペレーティングシステム

- macOS Tahoe 26
- macOS Sequoia 15
- macOS Sonoma 14
- macOS Ventura 13
- macOS Monterey 12

Acronis True Image for SANDISK は記載されている macOS バージョン (macOS 15.1、15.2、15.3、15.4、15.5など) のすべてのマイナーアップデートをサポートするように設計されており、オペレーティングシステムアップデートのリリース後に検証テストが行われます。

注意

Intel Core 2 Duo プロセッサを搭載した Mac マシンはサポートされません。

サポートされるファイル システム

- APFS
- FAT32
- NTFS (Boot Camp を含む)

注意

NTFS ファイル システムではディスクにデータをバックアップできません。ただし、この種類のファイル システムに存在するバックアップからデータをリカバリすることはできます。

Acronis ブータブルメディアの要件

- ブータブルメディアを作成するには、APFS または Mac OS 拡張ファイルシステムでフォーマットされ、4.3GB 以上の空き容量があるリムーバブルドライブを使用できます。
- macOS 復元のバージョンは使用している Mac にインストールされた macOS のバージョンと一致していなければなりません。
- CD および DVD メディアはサポートされていません。

サポートされるストレージメディア

この製品は、WD、SANDISK、G-Tech などの SANDISK ハードウェアブランドのストレージデバイスに対してライセンスされます。

- 内蔵ドライブ (HDD、SSD)
- USB ドライブ
Acronis True Image for SANDISK は、USB インターフェースの全バージョン (1.1、2.0、3.0、3.1、3.2) に加え、USB-C および Thunderbolt ストレージデバイスをサポートします。実際のパフォーマンスは、システム構成、コントローラ、接続品質によって異なります。
- FireWire ドライブ
- Thunderbolt ドライブ
- ネットワーク共有、NAS (WD My Cloud Home および WD My Cloud Home Duo を除く)
 - 日本向け WD Cloud
 - My Cloud (Sequoia)
 - My Cloud (Glacier)
 - My Cloud Mirror
 - My Cloud Mirror (Gen 2)
 - My Cloud EX2
 - My Cloud EX2 Ultra
 - My Cloud EX2100
 - My Cloud EX4
 - My Cloud EX4100

- My Cloud DL2100
- My Cloud DL4100
- My Cloud PR2100
- My Cloud PR4100

サポートされていない構成

- RAID

サポートされるプロセッサ

- Appleシリコン (M1、M2、M3、またはM4チップ)
- Intel (x86)

一般的な要件

- Acronis True Image for SANDISK を実行するための管理者権限が必要になります。
- [Intel ベースの Mac の場合] お使いの Mac が Apple T2 チップを搭載している場合、セキュアブート設定で **[セキュリティなし]** と **[外部メディアからの起動を許可]** を選択してください。詳細については、<https://support.apple.com/ja-jp/HT208330> を参照してください。

ダークモードのサポート

ダークモードは macOS 12 以降で使用できます。macOS でダークモードがオンの場合、Acronis True Image for SANDISK はダーク表示に切り替わります。

Acronis True Image for SANDISK のインストールとアンインストール

注意

Acronis True ImageまたはAcronis製のサイバープロテクションソフトウェアが既にインストールされているシステムに、Acronis True Image for SANDISKをインストールすることはできません。

Acronis True Image for SANDISK をインストールするには、次のようにします。

1. SANDISK Web サイトから Acronis True Image for SANDISK のセットアップファイルをダウンロードします。
2. Acronis True Image for SANDISK のセットアップファイル (ファイルの拡張子は .dmg) をダブルクリックします。
3. インストーラーの手順に従います。プロンプトが表示されたら、管理者の資格情報を入力します。
4. 使用許諾契約の条件を読んで同意します。
5. Acronis True Image for SANDISK は、初回起動時に SANDISK ストレージデバイスを検出すると、自動的に有効になります。デバイスが自動的に検出されない場合は、**[製品の有効化が必要]** ウィンドウで **[再スキャン]** をクリックします。詳細については、「"Acronis True Image for SANDISK の有効化" (8ページ)」を参照してください。

Acronis True Image for SANDISK に対してフルディスクアクセスを許可する必要があります。フルディスクアクセスがないと、バックアップとクローン作成が正常に機能せず、保護が無効になります。アクセスを許可するには、フルディスクアクセスを要求するウィンドウの画面上の指示に従ってください。

Acronis True Image for SANDISK を完全にアンインストールするには

1. SANDISK Web サイトから Acronis True Image for SANDISK のセットアップファイルをダウンロードします。
2. Acronis True Image for SANDISK のセットアップファイル（ファイルの拡張子は .dmg）をダブルクリックします。
3. **Acronis True Image for SANDISK** ウィンドウで、**[Acronis True Image for SANDISK をアンインストール]** をダブルクリックし、さらにアンインストールを確認します。
4. プロンプトが表示されたら、管理者の資格情報を入力します。

Acronis True Image for SANDISK の有効化

Acronis True Image for SANDISK は、SANDISK ストレージデバイスがシステムで検出されたときに自動的に有効化されます。ライセンスは、SANDISK ストレージデバイスを最後に追加した日から 5 年間有効です。有効期限の終了が近づくと、通知を受け取ります。

ライセンスの有効期限を確認するには、次のようにします。

ライセンスの有効期限日を確認するには、サイドバーの **[バージョン情報]** をクリックします。

新しいデバイスを追加してライセンスを延長するには、次のようにします。

1. SANDISK 製の新しいストレージデバイスを接続します。
2. Acronis True Image for SANDISK を再起動します。自動的にデバイスが検出されます。
3. SANDISK デバイスの検索を手動で起動できます。起動するには、サイドバーで **[バージョン情報]** をクリックしてから、**[延長]** ボタンをクリックします。

Acronis True Image for SANDISK のアップグレード

Acronis True Image の最新バージョンにアップグレードできます。

以前のバージョンの Acronis True Image for SANDISK で作成されたバックアップは、Acronis True Image の新しいバージョンとの完全な互換性があります。アップグレード後、すべてのバックアップがバックアップリストに自動的に追加されます。

製品をアップグレードするたびに、新しいブータブルメディアを作成することを強くお勧めします。

製品版を購入するには、次のようにします。

1. Acronis True Image for SANDISK を開始します。
2. サイドバーの **[バージョン情報]** をクリックし、**[アップグレード]** をクリックします。オンラインストアを開きます。
3. **今すぐ購入** をクリックします。
4. 支払い情報を入力し、画面に表示される指示に従います。

Acronis True Image for SANDISK をアップデートするには、次のようにします。

自動確認をオンにするには、[Acronis True Image for SANDISK] メニューで、**[基本設定]** をクリックし、**[起動時にアップデートを自動確認]** チェックボックスをオンにします（デフォルトで選択されています）。

アップデートを手動で確認するには、[Acronis True Image for SANDISK] メニューで、**[アップデートの確認]** をクリックします。

アプリケーションの基本設定

[設定] ウィンドウには、Acronis True Image for SANDISKの一般的な設定が含まれています。これを開く手順は、次のとおりです。

1. Acronis True Image for SANDISK を開きます。
2. [Acronis True Image for SANDISK] メニューで、**[基本設定]** をクリックします。

[全般] タブでは、次の設定を使用できます。

- **Mac が Power Nap になっているときにバックアップする** (IntelベースのMacでのみ利用可能)
Mac がスリープ状態のときにバックアップを実行できます。詳細については、「[スケジュール設定](#)」を参照してください。
- **起動時にアップデートを自動確認**
詳細については、「[Acronis True Image for SANDISK のインストールとアンインストール](#)」を参照してください。
- **サービスの分析および改善のために、Acronisにより匿名化されたサービス利用情報が収集されることを許可します**
参加に同意すると、Acronis は、Acronis True Image for SANDISK の改善のために、匿名化された技術情報を収集します。名前、住所、電話番号、Eメール アドレス、キーボード入力などの個人のデータは収集されません。
- **通知センターに通知を表示する**
詳細については、「[通知](#)」を参照してください。

[バッテリーセーバー] タブでは、次の設定を使用できます。

- **バッテリー電源での作業中はバックアップを行わない**
詳細については、「[ラップトップ電源の設定](#)」を参照してください。

キーボードショートカット

Acronis True Image for SANDISK では、キーボードショートカットを使用して、より素早く簡単にユーザーインターフェースを使用できるようになっています。ショートカットを適用するには、2 つ以上のキーを同時に押します。Acronis True Image for SANDISK のショートカットの一部は、アプリケーションメニュー内に指定されています。メニュー内では、一部のキー名が以下のアイコンで置き換えられています。

キー名	アイコン
Command	⌘
Option	⌥
Shift	⇧

Acronis True Image for SANDISK のキーボードショートカット:

ショートカット	説明
Command + U	製品の更新を確認
Command + ,	アプリケーション設定ウィンドウを開く
Command + N	新規バックアップを作成
Command + 1	[バックアップ] セクションを開く
Command + 2	[保護] セクションを開く
Command + 3	[ディスクのクローン作成] セクションを開く
Command + 4	[バージョン情報] セクションを開く
Command + 5	[アップグレード] セクションを開く
[バックアップ] セクション	
Command + S	バックアップ元のダイアログを開く
Command + D	バックアップ先のダイアログを開く
Command + Shift + S	バックアップの設定ダイアログを開く
[ディスククローニング] セクション	
Command + S	クローン作成元のダイアログを開く
Command + D	クローン作成先のダイアログを開く

Touch Barとの統合

2016年モデルの15インチのMacBook Proと13インチのMacBook Pro(4つのThunderbolt 3ポート搭載)以降には、キーボードの上部に、Touch Barと呼ばれる特別な操作エリアがあります。Touch Barには、アクティブなウィンドウに基づいて最適と判断されるコントロールや、その時点で作業中のタスクが表示されます。このテクノロジーにより、ユーザーインターフェイスの操作がシンプルになり、ボタンのクリック、Webサイトの切り替え、検索の実行、テキスト形式の変更、標準のMacシステムコントロールの使用など、さまざまな操作を簡単に行うことができます。Touch Barについて詳しくは、AppleのWebサイト: <https://support.apple.com/ja-jp/HT207055>をご覧ください。

Acronis True Image for SANDISK は Touch Bar に対応しています。Touch Bar を使用して、異なるアプリケーションのセクションの切り替え、バックアップの設定、データの復元など、さまざまな操作を行えます。

Escボタンと右のアイコンはMacのシステムコントロールです。左側には、Acronis True Image for SANDISK のセクションを移動するためのアイコンが表示されます。

アイコン	説明
	バックアップ
	ディスクのクローン作成
	保護
	バージョン情報
	アップグレード

現在のウィンドウのコントロールは中央に置かれます。この例では、バックアップ元、宛先、設定を変更でき、バックアップを開始できます。

テクニカル サポート

Acronis True Image for SANDISK に関して援助が必要な場合は、SANDISK のサポートチーム (<https://www.sandisk.com/support>) にアクセスしてください。

バックアップ

基本的な概念

バックアップとリカバリ

バックアップとは、元のデータが失われてもそのコピーから**リカバリ**できるように、データのコピーを作成しておくことです。

バックアップの主な目的は2つあります。

- 1つは、オペレーティングシステムが損傷した場合や起動しない場合に、**OS**をリカバリするという目的です。この処理を災害復旧といいます。災害からのMacの保護の詳細については、「[ローカルストレージまたはネットワークストレージへのバックアップ](#)」を参照してください。
- もう1つは、ファイルやフォルダが誤って削除されたり損傷した後に、**特定のファイルやフォルダ**をリカバリするという目的です。

リカバリの方法:

- **完全リカバリ**: 元のロケーションまたは新しいロケーションにリカバリできます。
元のロケーションを選択すると、バックアップのデータで完全に上書きされます。新しいロケーションの場合、データはバックアップから新しいロケーションに単にコピーされます。

バックアップバージョン

バックアップバージョンは、バックアップの処理中に作成されます。各バージョンはそれぞれ特定の時点を表しており、その時点の状態にシステムやデータを復元することができます。最初のバックアップバージョンには、バックアップ対象として選択したすべてのデータが含まれます。2回目以降のバージョンでは、以前のバックアップバージョンから変更が加えられたデータのみが含まれるようになります。バックアップバージョンはすべて、1つのバックアップファイルに保存されます。

バックアップファイルの形式

Acronis True Image for SANDISK では、ローカルストレージまたはネットワークストレージにMacをバックアップすると、バックアップデータが独自の.tib形式または.tibx形式に圧縮されて保存されます。.tibまたは.tibxファイルのバックアップのデータは、Acronis True Image for SANDISKを使用した場合にのみ復元できます。

スケジュール作成

作成したバックアップを実際に役立てるには、可能な限り最新のバックアップを作成しておく必要があります。バックアップを定期的に行うには、[バックアップのスケジュール](#)を作成します。

バックアップ保持ルール

手動またはスケジュールでバックアップ処理が実行されるたびに、Acronis True Image for SANDISKではバックアップの保存先に新しいバックアップバージョンが作成されます。使用しなくなったバックアップバージョンを自動的に削除するため、バックアップ保持ルールを設定できます。詳細については、「[バックアップとバックアップバージョンのクリーンアップ](#)」を参照してください。

バックアップ可能な対象と不可能な対象

バックアップが可能な対象と不可能な対象は次の表のとおりです。

	バックアップの保存先			
	内蔵ドライブ (HDD、SSD、RAID)	USB ドライブ	Thunderbolt	ネットワーク共有、NAS
内蔵ドライブ (HDD、SSD)	+	+	+	+
USB ドライブ	+	+	+	+
FireWire ドライブ	+	+	+	+
Thunderbolt	+	+	+	+
Fusion Drive	+	+	+	+
FileVault 2 で保護されているハードドライブ	+	+	+	+
Boot Camp がインストールされているハードドライブ	+	+	+	+
特定のファイル	+	+	+	+
RAID、Apple RAID	-	-	-	-
個別のパーティション	-	-	-	-
APMディスク	-	-	-	-

ローカルストレージまたはネットワークストレージへのバックアップ

1. Acronis True Image for SANDISK を開きます。

2. 次のいずれかを実行します。

- 最初のバックアップの場合は、この手順をスキップします。

バックアップを既に作成していて新しいバックアップを作成する場合は、バックアップリストの下にある **[バックアップの追加]** をクリックします。

注意

バックアップを削除するには、そのバックアップを右クリックして **[削除]** をクリックします。バックアップがリストから削除され、バックアップファイルがバックアップストレージから完全に削除されます。これらのファイルは二度と復元できなくなります。

3. バックアップ対象のアイコンをクリックして、バックアップするデータを選択します。

- **Mac全体**

このオプションを選択すると、Acronis True Image for SANDISK は、内蔵ハードドライブすべてをディスクモードでバックアップします。バックアップ対象は、オペレーティングシステム、インストールされているプログラム、システムの設定、写真、音楽、ドキュメントなどの個人データすべてです。

- **ディスク**

- **ファイルとフォルダ**

重要

クラウドに同期されたデータをサードパーティのクラウドサービスプロバイダーによってバックアップするには、実際のデータをローカルに保管する必要があります。ファイルまたはフォルダがクラウドに保管されている場合は、ローカルプレースホルダーのみが表示されます。プレースホルダーには雲のアイコンが付いていることが多く、サイズもかなり小さくなっています。バックアップするソースファイルを選択するときは、プレースホルダーではなくローカルファイルを選択する必要があります。クラウドサービスがデータをローカルに保管しない場合、データをバックアップおよび回復することはできません。

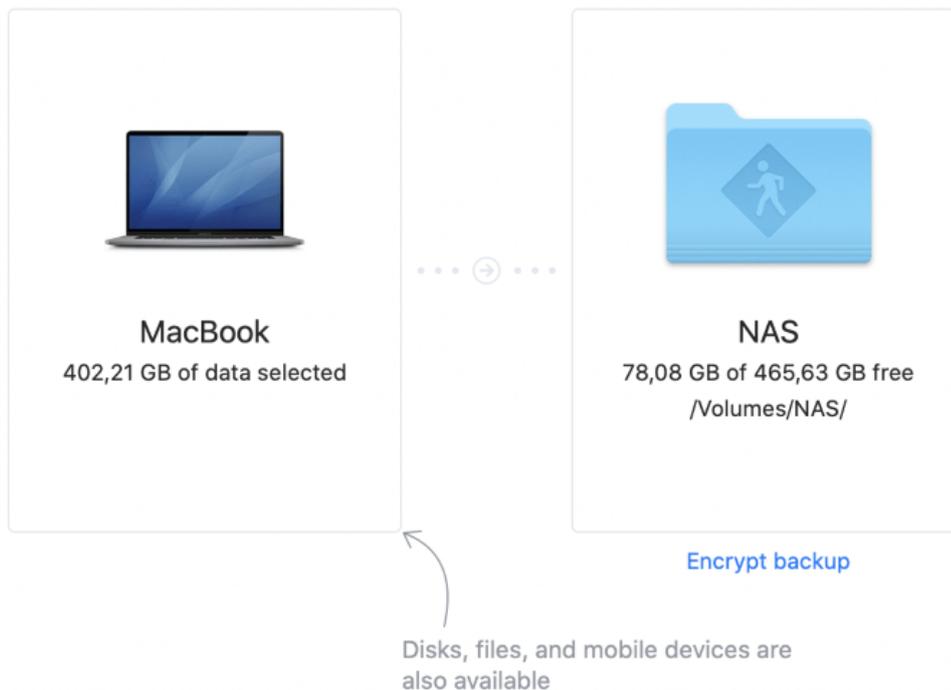
- **NAS** (接続されている場合)

MacBook

Backup

Activity

Recovery



Schedule: Once a day at 22:27

Settings

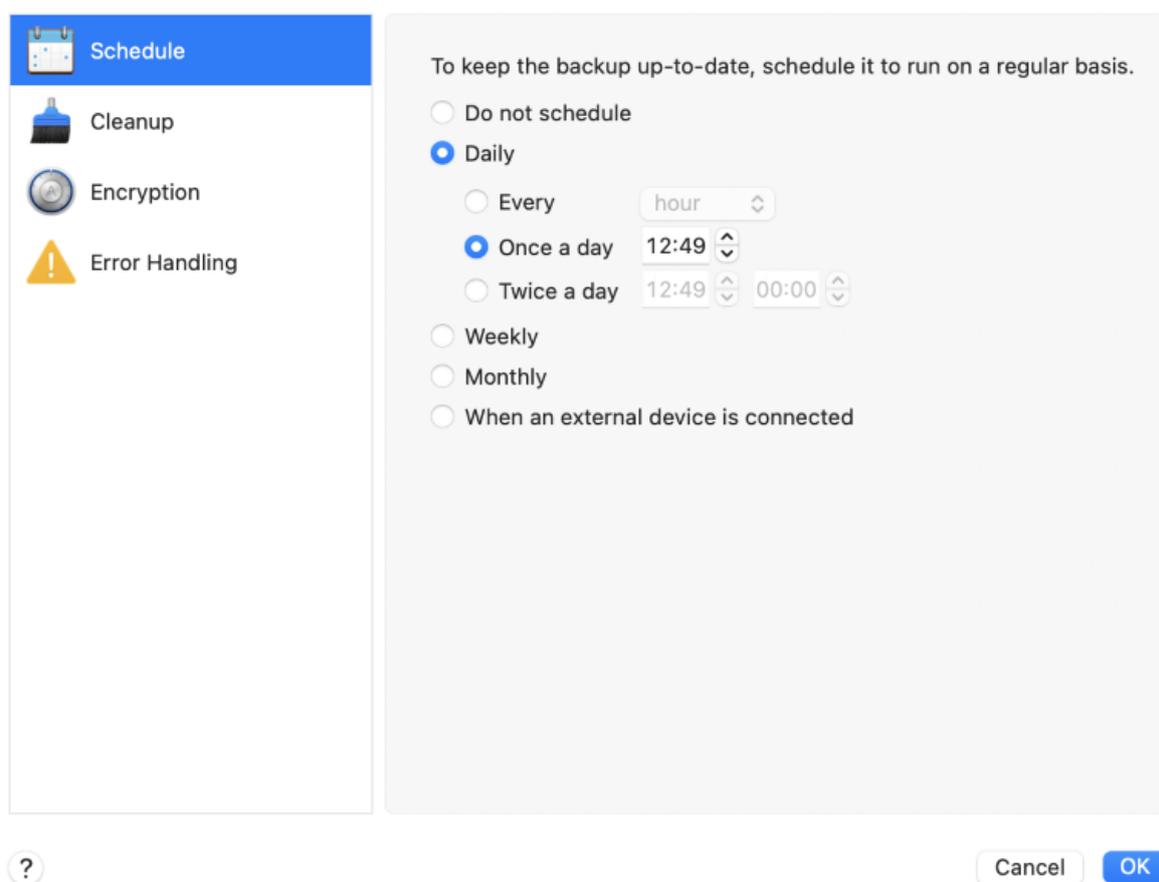
Back Up

4. バックアップの保存先のアイコンをクリックし、バックアップファイルを保存する場所を選択して、**[OK]** をクリックします。保存場所が一覧に表示されない場合は、**[参照]** をクリックして場所を選択します。
NASデバイスがある場合は、自動的に検出され、その他の保存場所と一緒に表示されます。
5. (オプションの手順) 設定を追加します。次の操作を実行できます。
 - バックアップスケジュールを設定するには、**[設定]** → **[スケジュール]** の順にクリックします。詳細については、「[スケジュール設定](#)」を参照してください。
 - バックアップ保持ルールを設定するには、**[設定]** → **[クリーンアップ]** の順にクリックします。詳細については、「[バックアップとバックアップバージョンのクリーンアップ](#)」を参照してください。
 - パスワードや暗号化を使用してバックアップを保護するには、**[設定]** → **[暗号化]** の順にクリックします。詳細については、「[バックアップの暗号化](#)」を参照してください。
 - **[設定]** → **[エラーの処理]** でバックアップの試行を設定します。
6. すべての設定が完了してバックアップを開始する準備ができたなら、**[バックアップ]** をクリックします。

Acronis True Image for SANDISK バックアップから Mac を復元するには、Acronis ブータブルメディアが必要になります。まだ用意していない場合は作成してください。詳細については、[Acronis ブータブルメディアの作成](#)を参照してください。

スケジュール設定

作成したバックアップを実際に役立てるには、可能な限り最新のバックアップを作成しておく必要があります。バックアップを定期的に行うには、バックアップのスケジュールを作成します。デフォルトでは、Mac は毎日バックアップされます。



バックアップのスケジュールを作成する手順は、次のとおりです。

1. [設定] で、バックアップ間隔を選択し、開始時刻を指定します。

- **スケジュールを設定しない**

このオプションを設定すると、スケジュール設定は無効になります。

- **日単位**

1日に1度または2度、指定の時刻または選択した時間間隔でバックアップが開始されます。

- **週単位**

選択した曜日の指定時刻で毎週、バックアップが実行されます。

- **月単位**

選択した日付の指定時刻で毎月、バックアップが実行されます。

- **外付けデバイスが接続されている場合**（外部保存先へのバックアップにのみ使用可能）

USB フラッシュドライブまたは外付け HDD へのバックアップを実行するタスクをスケジュールすると、同じ外付けデバイスが接続されるたびにバックアップが開始されます。そのデバイスでバックアップを 1 日に 1 回だけ実行するには、**[1 日に一度]** チェックボックスをオンにします。

2. すべての設定が完了したら、**[OK]** をクリックします。

スケジュールが設定された時刻に Mac の電源が切れている、または Mac がスリープモードになっている場合は、次に Mac を起動、またはスリープを解除したときにバックアップが実行されます。Mac Power Nap を使用すると、データバックアップのギャップを防ぐことができます。

（IntelベースのMacでのみ利用可能な）Mac Power Napを使用するには

- Mac の **[省エネルギー]** > **[電源アダプタ]** パラメータで Power Nap をオンにします。
- [Acronis True Image for SANDISK] メニューの **[基本設定]** をクリックし、**[全般]** をクリックして、**[Mac が Power Nap のときにバックアップする]** チェックボックスをオンにします。**[OK]** をクリックします。

この設定をオンにした場合、スケジュールされた時間になったときに Mac がスリープモードであれば、次の Power Nap でバックアップが実行されます。なお、Power Nap 時のバックアップは、コンピュータが電源に接続されている場合のみ機能することに留意してください。

バックアップの暗号化

バックアップされたデータを不正アクセスから保護するために、バックアップを業界標準の AES（Advanced Encryption Standard）暗号化アルゴリズムで 256 ビットの長さのキーを使用して暗号化できます。

注意

既存のバックアップに関するバックアップ暗号化オプションを変更することはできません。

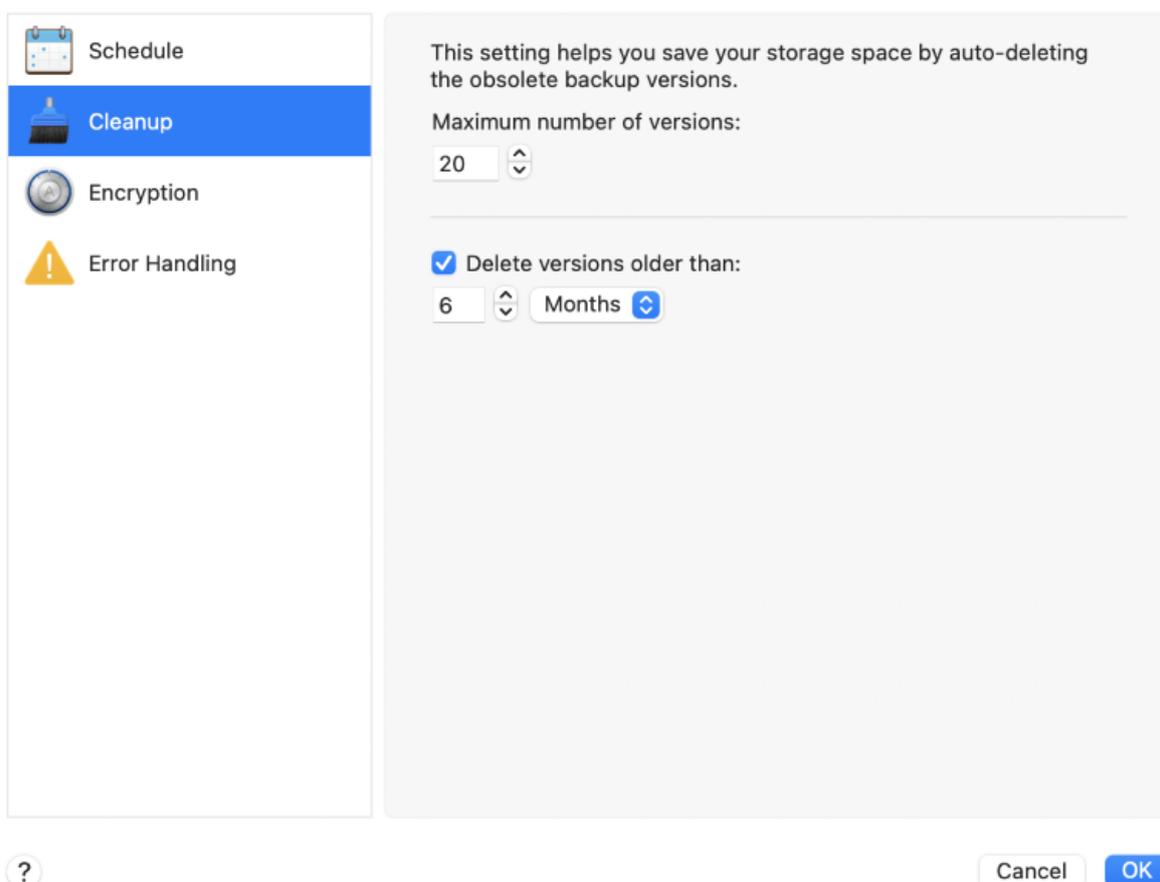
バックアップを暗号化する手順は、次のとおりです。

1. 最初にバックアップ処理を設定する際に、**[設定]** アイコンをクリックして、**[暗号化]** をクリックします。
2. バックアップ用のパスワードを対応するフィールドに入力し、**[OK]** をクリックします。
パスワードはできる限り想像しにくいものにするため、8文字以上の、アルファベット（大文字と小文字の両方を使用することが望ましい）と数字を含むものにしてください。
パスワードを取得することはできません。バックアップの保護に指定したパスワードは控えておいてください。

バックアップとバックアップバージョンのクリーンアップ

手動またはスケジュールでバックアップ処理が実行されるたびに、Acronis True Image for SANDISK ではバックアップの保存先に新しいバックアップバージョンが作成されます。

デフォルトでは、Acronis True Image for SANDISK は最新の 20 個のバージョンを保存します。21 個目のバージョンを作成するときに、Acronis True Image for SANDISK によってバックアップの最も古いバージョンが自動的に削除されます。バックアップバージョンの数に異なる制限を設定できます。



バージョンの数に加えて、バージョンの保存期間も制限できます。**[次の期間を超えたバージョンを削除する]** チェックボックスをオンにし、バージョンを保管する期間を指定します。指定した期間を超過したバージョンは、すべて自動的に削除されます。

既存のバックアップをリストに追加する

Acronis True Image for SANDISK バックアップを過去の製品バージョンで作成したり、他のコンピュータからコピーしたりした場合、

リストに表示されないバックアップについては、手動で追加することができます。

バックアップを手動で追加するには、次のようにします。

1. **[ファイル]** メニューで **[既存のバックアップを追加]** をポイントします。ウィンドウが開き、コンピュータ上に存在するバックアップを参照できます。
また、Spotlight を使用して .tib または .tibx ファイルから検索することもできます。
2. バックアップバージョン (.tib または .tibx ファイル) を選択します。バックアップ全体がリストに追加されます。

一覧のすべてのバックアップからデータを復元できます。また、同じ Mac で作成されたバックアップを再構成できます。

バックアップを再構成する手順は、次のとおりです。

1. バックアップソースのアイコンをクリックして、バックアップするデータを選択します。
2. (オプションの手順) バックアップを定期的に行うには、バックアップのスケジュールを設定します。
3. バックアップを開始するには、**[バックアップ]** をクリックします。

注意

一覧でローカルバックアップを非表示にするには、非表示にするローカルバックアップを右クリックし、**[Hide from the list]** をクリックします。非表示にしたバックアップは、再び手動で追加するまでは操作できません。

接続設定

ネットワーク上のコンピュータまたはNASデバイスに接続する場合、通常、ネットワークロケーションにアクセスするために必要なログイン情報を入力する必要があります。たとえば、バックアップの保存先を選択する際にこの操作が必要になることがあります。その場所に対する資格情報が変更された場合は、バックアップの設定で手動で資格情報を修正する必要があります。修正しなければ、以降のバックアップ操作はすべて失敗します。

ネットワークロケーションに対する資格情報を変更するには、次のようにします。

1. Acronis True Image for SANDISK を開きます。
2. **[バックアップ]** セクションで、バックアップ元またはバックアップ先としてネットワークロケーションが設定されているバックアップを選択します。
3. 歯車アイコンをクリックして、バックアップの設定を表示します。
4. **[接続]** セクションで、そのネットワークロケーションにアクセスするためのユーザー名とパスワードを指定します。
5. (オプションの手順) **[接続のテスト]** をクリックします。
接続が確立されると、資格情報が修正されます。
6. 変更を適用するには、**[OK]** をクリックします。

バックアップアクティビティと統計

バックアップ履歴やバックアップに含まれているファイルの種類などのバックアップに関する追加情報を、**[アクティビティ]** タブと **[バックアップ]** タブに表示することができます。**[アクティビティ]** タブには、選択したバックアップに対して実行された（作成以降の）操作リスト、操作状況、統計が含まれています。これは、バックグラウンドモードでバックアップに何が生じていたかを突き止める必要があるときに便利です。たとえば、スケジュールされたバックアップ操作の数や状況、バックアップデータのサイズなどです。

バックアップの最初のバージョンを作成するときに、**[バックアップ]** タブに、バックアップの内容がファイルの種類ごとに図表形式で表示されます。

[アクティビティ] タブ

バックアップアクティビティを表示する手順は、次のとおりです。

1. サイドバーで **[バックアップ]** をクリックします。
2. バックアップリストで、履歴を表示するバックアップを選択します。
3. 右側のペインで **[アクティビティ]** をクリックします。

	正常にバックアップされました 今日 15:16				
バックアップ済み	速度	経過時間	復元対象のデータ	種類	
18.5 MB	3 Mbps	51秒	18.45 GB	増分	

表示対象と分析対象:

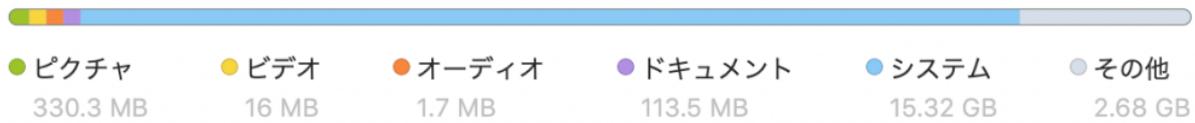
- バックアップ操作とその状況（正常、失敗、キャンセル、中断など）
- バックアップに対して実行された操作とその状況
- エラーメッセージ
- バックアップのコメント
- バックアップ操作の詳細。これには、次のものが含まれます。
 - **[バックアップ済み]** - バックアップデータのサイズ（圧縮データ）。
 - **[速度]** - バックアップ操作の速度。
 - **[経過時間]** - バックアップ操作にかかった時間。
 - **[復元するデータ]** - データの初期サイズ（非圧縮データ）。
 - **[種類]** - バックアップ操作の種類（完全、増分）。

[バックアップ] タブ

バックアップを作成するときに、各種のバックアップファイルの統計を表示することができます。

前回のバックアップ: 今日 15:16

復元するデータ: 18.45 GB ?



カラーセグメントをポイントして、ファイルの数と各データカテゴリの合計サイズを表示します。

- ピクチャ
- ビデオファイル
- オーディオファイル
- ドキュメント
- システムファイル
- 隠しシステムファイルを含む、他のファイルタイプ

[復元対象のデータ] には、バックアップ対象として選択した元のデータのサイズが表示されます。

ラップトップ電源の設定

注意

この設定は、バッテリーを搭載したコンピュータ（ラップトップ、UPSに接続されたコンピュータ）でのみ使用できます。

ラップトップで作業するときに電源が周りにない場合や、コンピュータが停電後にUPSに切り替えられている場合は、バッテリー電源を節約することをお勧めします。バックアップを長時間実行すると、バッテリーの電源が非常に速く消耗する場合があります。

バッテリーの充電を節約する手順は、次のとおりです。

- [Acronis True Image for SANDISK] メニューの [基本設定] をクリックし、[バッテリーセーバー] をクリックして、[バッテリー電力がこれを下回る場合はバックアップしない] チェックボックスをオンにします。次に [OK] をクリックします。

この設定をオンにすると、ラップトップ電源アダプタを取り外すか、停電時にコンピュータでUPSを使用した場合、バッテリーの残り電力がスライダレベル以下になったら、現在のすべてのバックアップが一時停止されて、スケジュール済みバックアップは開始しません。電源アダプタを再び取り付けるか電源が復旧すると、一時停止されていたバックアップが再開されます。この設定のために実行されていなかったスケジュール済みバックアップも開始されます。

この設定は、バックアップ機能を完全にはブロックしません。いつでもバックアップを手動で開始できます。

通知

macOS 通知センターでの通知

macOS 通知センターで Acronis True Image for SANDISK 通知を複製すると、Acronis True Image for SANDISK コンソールを開かなくても通常の場所でそれらの通知を表示できます。macOS 通知センターでは通知が自動的に表示されます。

製品内通知を通知センターで複製するには、[Acronis True Image for SANDISK] メニューで、**[基本設定]** をクリックし、**[通知センターに通知を表示する]** チェックボックスをオンにします。

Acronis Tray Notification Center での通知

Acronis True Image for SANDISK が開いているときは、操作のステータスが表示されます。ただしバックアップなどの操作には時間がかかる可能性があるため、結果を知るために Acronis True Image for SANDISK を開いたままにしておく必要はありません。macOS 通知センターの中の通知はユーザーによって閉じられるまで開いたままになりますが、いったん閉じた通知を開くことはできません。その情報を見るには Acronis True Image for SANDISK を開く必要があります。

Tray Notification Center には最近の通知が一か所に表示され、Acronis True Image for SANDISK を開かなくても、必要なときに重要な操作ステータスを確認できます。Acronis Tray Notification Center に表示される通知は、バックアップ操作の結果情報や、Acronis True Image for SANDISK からのその他の重要通知です。Tray Notification Center は最小化され、Macトレイの Acronis True Image for SANDISK の下で非表示になります。

Parallels Desktopのサポート

Parallels Desktopとは

Parallels Desktop とは、特別な仮想環境を使用することで、Mac 上で別のオペレーティングシステムを実行できるアプリケーションです。通常は Windows を実行するために使用されますが、macOS、Linux、Google ChromeOS などのオペレーティングシステムを実行することもできます。詳細については、Parallels の Web サイト (<https://www.parallels.com/jp/products/desktop/>) を参照してください。

注意

Acronis True Image for SANDISK は、Parallels Desktop バージョン 20 までをサポートします。それ以降のバージョンは完全に互換性がない場合があります。

Acronis True Image for SANDISK では Parallels Desktop 仮想マシンがどのように処理されるのですか？

Acronis True Image for SANDISK では、Parallels Desktop 16 以上で作成した仮想マシンが完全サポートされています。Macをバックアップすると、仮想マシンもバックアップされます。Mac の復元時に、仮想マシンがバックアップ開始時の状態に戻ります。リカバリ後も、仮想マシンはすべて一貫性を維持し、起動可能です。

どのように動作しますか？

Macのディスクレベルのバックアップを実行するたびに、Acronis True Image for SANDISK はバックアップ対象として選択されたディスク上にあるすべてのParallels Desktop仮想マシンのスナップショットを作成します。これらのスナップショットにより、仮想マシンは復元後も一貫性を保ち、ブータビリティを維持できます。スナップショットはバックアップに含まれた後、Macから自動的に削除されます。

どの仮想マシンがバックアップされますか？

Acronis True Image for SANDISK は、次のようなすべての仮想マシンをバックアップします。

- バックアップされているディスクに保存されている仮想マシン
- Parallels Desktopアプリケーションに追加されている仮想マシン
- 現在実行中、停止中、および一時停止中の仮想マシン

仮想マシンをリカバリするにはどうすればよいですか？

仮想マシンが Parallels Desktop 14 以上で作成されている場合、復元されるすべての仮想マシンはリカバリ後にブートされます。

注意

PD マシンを新しい仮想マシンとして復元する（以前のものを上書きしない）ことをお勧めします。

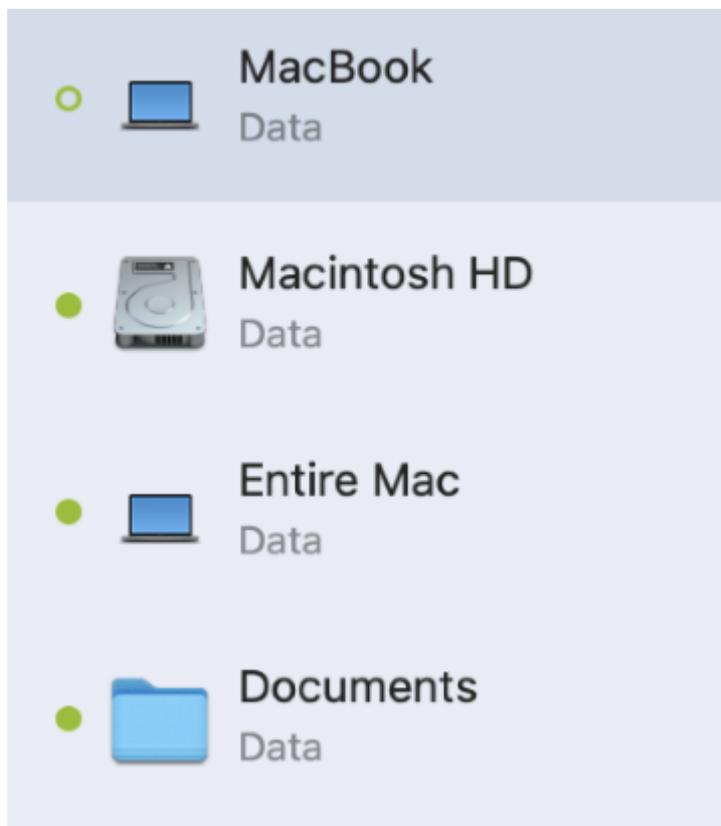
制限

Boot Campパーティションを使用するようにParallels Desktop仮想マシンを構成している場合、次の制限事項に注意してください。

- 仮想マシンが実行中の場合、Boot Campパーティションのバックアップはほとんどのケースで失敗します。
- 仮想マシンが一時停止中の場合、Boot Campパーティションのバックアップは成功しますが、バックアップからの復元はほとんどのケースで失敗します。
- 仮想マシンが一時停止中の場合、Boot Campパーティションへの復元は失敗します。かわりに、Boot Campパーティションを削除して、これをバックアップから未割り当て領域に復元します。

バックアップリスト

バックアップリストで作業している間は特別なアイコンが表示されます。これらのアイコンは、バックアップの種類と現在のバックアップ状態を示します。



バックアップの状態

アイコン	説明
	バックアップが正常に完了しました。
	バックアップはキューに入れられています。
 (点滅)	バックアップが進行中です。
	バックアップはユーザーにより一時停止されました。
	前回のバックアップに失敗しました。
	バックアップは警告を伴って完了しました。

リスト内でのバックアップの並べ替え

デフォルトでは、バックアップは作成日の新しい順に並べ替えられます。順序を変更するには、バックアップリストの上部にある並べ替えの種類から適切なものを選択します。次の選択肢があります。

コマンド		説明
並べ替え基準	名前	このコマンドは、すべてのバックアップをアルファベット順に並べ替えます。 順序を逆にするには、 [Z→A] を選択します。
	作成日	このコマンドは、すべてのバックアップを新しい順に並べ替えます。 順序を逆にするには、 [古い順] を選択します。
	アップ デート 日	このコマンドは、すべてのバックアップを最新の日付順に並べ替えます。バックアップバージョンが新しいほど、リストの上位に配置されます。 順序を逆にするには、 [参照頻度の低い順] を選択します。
	サイズ	このコマンドは、すべてのバックアップをサイズの大きい順に並べ替えます。 順序を逆にするには、 [小さい順] を選択します。
	対象の 種類	このコマンドは、すべてのバックアップを対象の種類ごとに並べ替えます。
	保存先 の種類	このコマンドは、すべてのバックアップを保存先の種類ごとに並べ替えます。

ブータブルメディアの作成

Acronis ブータブルメディア の作成

Acronis ブータブルメディア は、ブート ファイルが格納されているリムーバブルドライブです。Mac が起動しない場合は、このドライブを使用して Acronis リカバリ環境を起動し、作成済みのバックアップから Mac をリカバリします。

注意

Fusion Drive、および SoftRAID で初期化されたディスクは、Acronis ブータブルメディア のターゲットとしてはサポートされません。

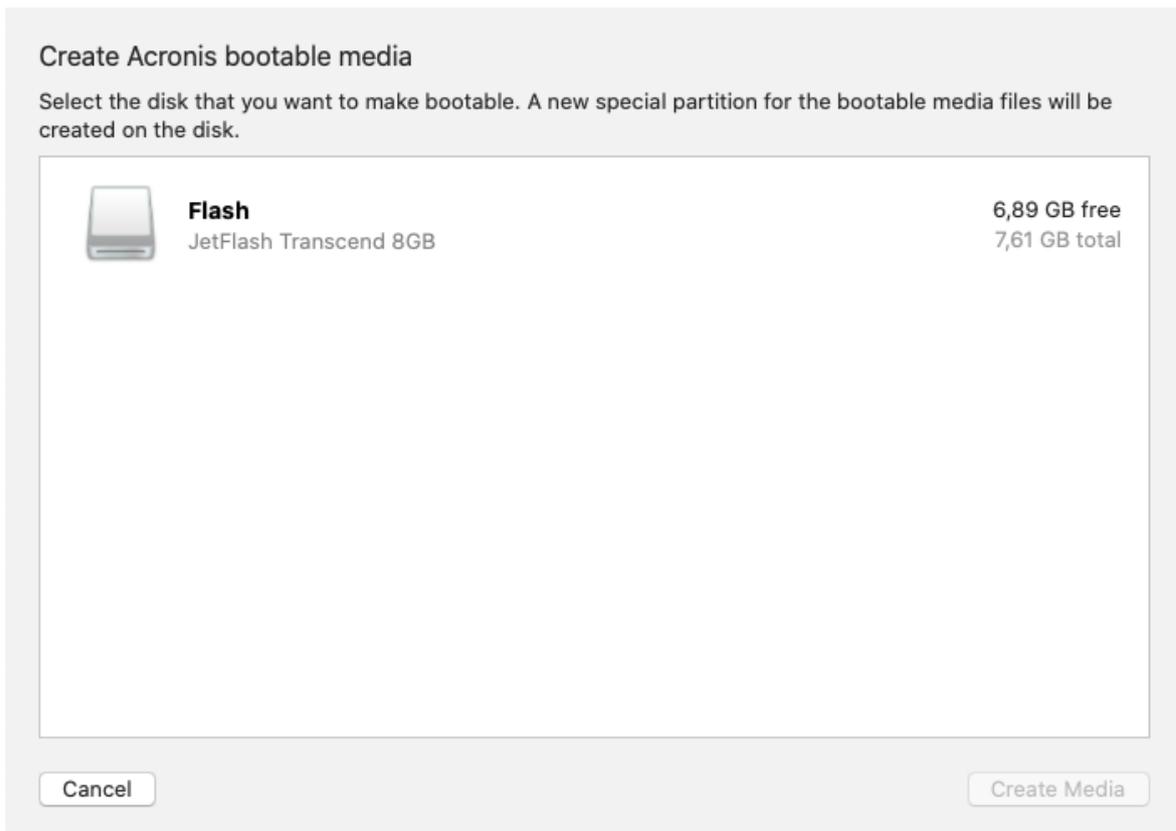
まだバックアップがない場合は作成してください。「[ローカルまたはネットワークストレージへのバックアップのバックアップ](#)」を参照してください。

警告

Acronis ブータブルメディア を使用することが、Acronis True Image for SANDISK のバックアップから Mac をリカバリする唯一の方法です。

Acronis ブータブルメディア を作成するには、以下の手順に従います。

1. Mac にリムーバブルドライブを接続します。
APFS または Mac OS 拡張ファイルシステムでフォーマットされ、4.3GB 以上の空き容量があるリムーバブルドライブを使用できます。具体的には、外付けハードディスク ドライブや USB フラッシュドライブを使用することができます。CD および DVD メディアはサポートされていないのでご注意ください。
2. Acronis True Image for SANDISK を開きます。
3. [ファイル] メニューの [**Acronis ブータブルメディアの作成**] をクリックします。表示されたウィンドウで、[メディアの作成] をクリックします。
4. Acronis メディアビルダー ウィンドウが開きます。



5. ブータブルにするドライブを選択します。
6. **[メディアの作成]** をクリックします。

Acronis True Image for SANDISK は選択されたドライブに小さなパーティションを作成して、そこにブートファイルを書き込みます。これを作成するために、既存のボリュームのいずれかのサイズが変更されます。ディスクが GPT ではなく、Mac OS 拡張または APFS とは異なるファイルシステムである場合、Acronis True Image for SANDISK はディスクのフォーマットを推奨します。ディスクをフォーマットすると、そのディスクに保存されているすべてのデータが消去されることに注意してください。

7. 処理が完了したら、メディアを取り外して安全な場所に保管します。メディアにデータを保存することはできませんが、Acronis ブートファイルは削除したり変更したりしないようにしてください。

注意

macOS を新しいバージョンにアップグレードするたびに、新しいブータブルメディアを作成することをお勧めします。作成しなかった場合、ブータブルメディアが正常に機能しなくなることがあります。

リカバリ

Mac をリカバリするタイミング

コンピュータが起動しない、または macOS や一部のアプリケーションが正常に動作しない場合は大抵、ディスクイメージからオペレーティングシステムをリカバリするタイミングと言えるでしょう。最初に、問題の原因を特定することをお勧めします。

システム エラーの原因には、2つの基本的な要因があります。

- **ハードウェア障害**

この場合は、ハードウェア メーカーのサービス センターに問い合わせることをお勧めします。

- **オペレーティング システム、アプリケーション、またはデータの損傷**

障害の原因がウイルス、マルウェア、システム ファイルの損傷である場合は、バックアップからシステムをリカバリします。詳細については、「[Macのリカバリ](#)」を参照してください。

問題の原因を特定する手順は、次のとおりです。

1. ケーブル、コネクタ、外付けデバイスの電源などを確認します。
2. Mac を再起動します。Mac の起動中に **Option** キーを押し続けます。リカバリ メニューが表示されます。
3. 一覧から [**ディスク ユーティリティ**] を選択し、**[続行]** をクリックします。
4. 確認するディスクを選択し、**[First Aid]** をクリックします。

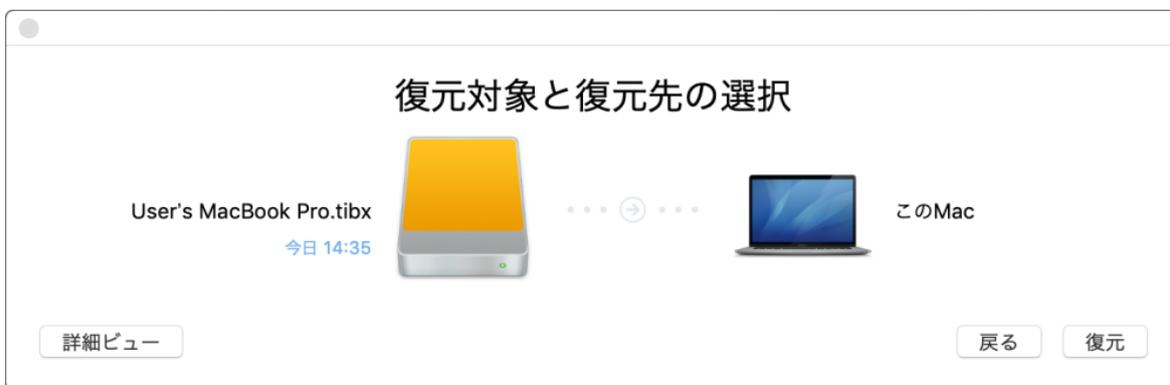
ディスク故障の可能性がディスク ユーティリティによって示された場合は、ディスクの物理的な状態に原因があります。たとえば、不良セクタが含まれている可能性があります。可能な限り早くディスクをバックアップして置き換えることをお勧めします。
5. **[ディスクを検証]** をクリックします。
 - エラーが存在する場合は、**[ディスクを修復]** をクリックします。ディスクが正常であること、または修復されたことがディスク ユーティリティによって示された場合は、Mac を再起動し、通常の使用を継続します。エラーが解消されない場合は、Acronis True Image for SANDISK バックアップから Mac を復元します。詳細については、「[Macのリカバリ](#)」を参照してください。
 - ディスクユーティリティでエラーが検出されなかった場合は、Acronis True Image for SANDISK バックアップから Mac を復元します。詳細については、「[Macのリカバリ](#)」を参照してください。

Mac のリカバリ

Mac が起動しない、または正常に動作しない場合は、次の手順を実行して Mac をリカバリします。

1. 次のものが用意されていることを確認してください。
 - 以前作成された Acronis True Image for SANDISK バックアップ。詳細については、「[ローカルまたはネットワークストレージへのバックアップ](#)」を参照してください。

- Acronis ブータブルメディア。用意していない場合は、Mac で Acronis True Image for SANDISK を起動し、可能な限り早くメディアを作成してください。詳細については、[Acronis ブータブルメディアの作成](#)を参照してください。
2. Mac にブータブルメディアを接続します。
 3. ブートメニューを表示する手順は、次のとおりです。
 - [Intel ベースの Mac の場合] Mac を起動または再起動します。Macの起動中にOptionキーを押し続けます。
 - [Apple シリコンを搭載した Mac の場合] Mac をシャットダウンします。電源ボタンを押し続けます。
 4. 起動元のデバイスとして Acronis ブータブルメディア を選択します。ユーティリティが表示されます。
 - (IntelベースのMacの場合) **[Acronis True Image for SANDISKバックアップから復元します]** を選択した後、**[続行]** をクリックします。
 - Apple シリコンを搭載した Mac の場合、**[Acronis ブータブルメディア]** を選択した後、**[復元]** をクリックします。
 5. 表示されたウィンドウで、バックアップの場所を選択します。
 - **ローカルストレージ**
 - **[ネットワーク]**
 バックアップを選択して、**[開く]** をクリックします。
 6. 一覧から Mac のリカバリに使用するバックアップのバージョンを選択して、**[次へ]** をクリックします。選択したバージョンの内容が表示されます。
 7. リカバリ対象のパーティションの横にあるチェックボックスをオンにします。各パーティションのリカバリ先を選択します。



注意

Acronis True Image for SANDISK がバックアップ内の各パーティションのターゲットを自動的に判断する場合は、簡易ビューが表示されます。このモードでは変更を加えることができません。手動でパーティションを選択する必要がある場合は、**[詳細ビュー]** ボタンをクリックします。

8. リカバリを開始するには、**[リカバリする]** をクリックし、リカバリ先のパーティションにあるデータをすべて消去することを確認します。
9. 起動できないデータボリュームでデータのみをリカバリする必要がある場合は、プロンプトで求められたら、**[データの復元]** をクリックします。macOS がインストールされたブータブルボリュームが

必要な場合は、[再起動して復元] をクリックします。これにはインターネット接続が必要です。

Boot Camp パーティションに関する FAQ

- **Boot Camp パーティションをバックアップするにはどうすればよいですか？**

Boot Camp がインストールされているハード ドライブをバックアップします。バックアップには、ドライブに保存されているすべてのデータ（Boot Camp パーティションを含む）が格納されます。

- **Boot Camp パーティションを個別にバックアップすることはできますか？**

Acronis True Image for SANDISK ではディスクレベルのバックアップのみを作成することが可能なため、個別にバックアップすることはできません。代替の方法として、Boot Camp パーティションが含まれているハード ドライブをバックアップすることができます。

- **Boot Camp パーティションをリカバリするにはどうすればよいですか？**

リカバリはブータブルメディア環境で実行できます。リカバリ元およびリカバリ先を選択するときに、一覧表示されるパーティションをすべて選択します。この操作により、ハード ドライブ全体がリカバリされます。Boot Camp パーティションのみをリカバリするには、該当のパーティションの横にあるチェックボックスをオンにして、それ以外のチェックボックスをオフにします。

- **リカバリを実行する前に Boot Camp パーティションのサイズを変更することはできますか？**

Boot Camp パーティションのサイズはバックアップ時と同じであるため、サイズを変更することはできません。

- **Boot Camp パーティションのリカバリ先として選択できる場所はどこですか？**

任意のリカバリ先を選択できますが、Boot Camp パーティション自体にリカバリを実行することを強くお勧めいたします。

- **バックアップ済みの Boot Camp パーティションから特定のファイルをリカバリすることはできますか？**

その他のファイルのリカバリ方法と同様に、制限なくファイルをリカバリすることができます。

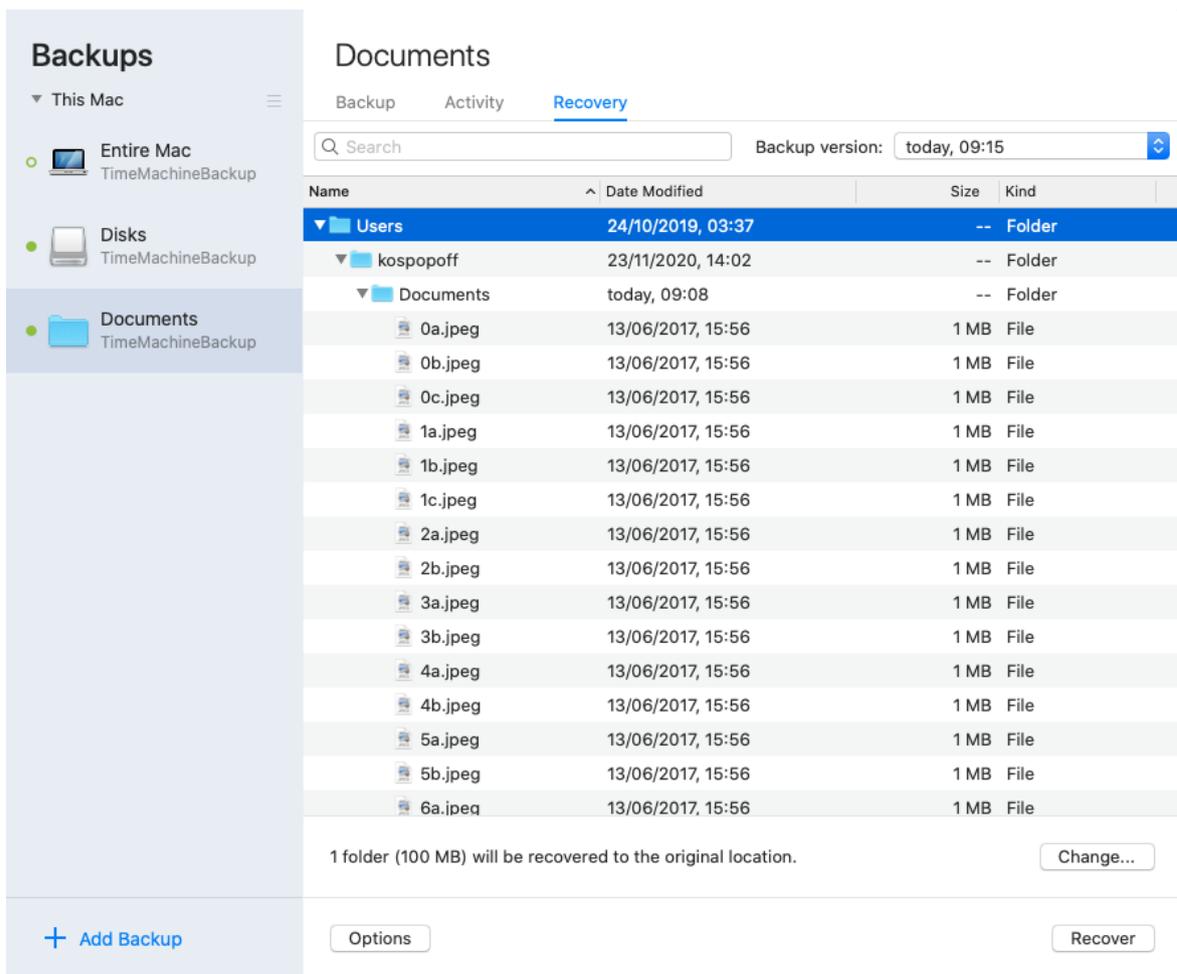
ファイルとフォルダのリカバリ

バックアップから特定のファイルやフォルダを復元する必要がある場合は、次の手順を実行します。

Acronis True Image for SANDISK でデータを復元する場合は、次のようにします。

1. 左側のペインで、リカバリするファイルやフォルダが含まれているバックアップを選択し、[復元] タブを開きます。

バックアップの内容がウィンドウに表示されます。



2. [バックアップ バージョン] の一覧で、バックアップ作成日をもとにバックアップ バージョンを選択します。この手順を行うことで、ファイルおよびフォルダが指定の日付に保存された状態にリカバリされます。
3. リカバリするファイルまたはフォルダを選択します。
4. (オプションの手順) デフォルトでは、選択したファイルやフォルダは元の場所にリカバリされます。リカバリ先の場所を変更するには、[変更] をクリックして、リカバリに使用する場所を参照します。
5. [リカバリする] をクリックします。処理が完了すると、選択した日時の状態にデータがリカバリされ、元の場所または指定した場所に保存されます。

選択したデータはデフォルトの [ダウンロード] フォルダにダウンロードされます。

バックアップの内容の検索

ローカルバックアップからデータを復元する際、選択したバックアップ内に保存された特定のファイルやフォルダを検索できます。

ファイルやフォルダを検索する手順は、次のとおりです。

1. ローカルストレージまたはネットワークストレージからのファイルのリカバリの説明に従ってデータの復元を開始します。

2. 復元するファイルやフォルダを選択する際、**[検索]** フィールドにファイル名またはフォルダ名を入力します。検索結果が表示されます。
ワイルドカード文字 (*および?) も使用できます。たとえば、拡張子が「.exe」のファイルを検索するには、「*.exe」と入力します。「my」で始まる5文字のファイル名が付いた「.exe」ファイルすべてを検索するには、「my???.exe」と入力します。
3. デフォルトでは、Acronis True Image for SANDISK は前の手順で選択したフォルダを検索します。バックアップ全体を検索対象にするには、**[すべてのバックアップ]** をクリックします。
前の手順に戻るには、クロスアイコンをクリックします。
4. 検索完了後、復元するファイルを選択したら、**[次へ]** をクリックします。

注意

[バージョン] 項目に注意してください。異なるバックアップバージョンに属するファイルやフォルダを同時に復元することはできません。

ファイルリカバリオプション

バックアップ用に次のファイル復元オプションを選択できます。

- **[Preserve file permissions]** このオプションを選択すると、バックアップファイルのすべてのセキュリティプロパティ（グループまたはユーザーに割り当てられる許可）が保存されます。デフォルトでは、ファイルとフォルダは元のセキュリティ設定（各ユーザーに付与される書き込み、読み取り、実行などの許可）と共にバックアップに保存されます。異なるユーザーアカウントを使用してバックアップされたファイル/フォルダをコンピュータでリカバリすると、そのファイルの読み取りや変更ができなくなる可能性があります。
このオプションをオフにして現在のユーザーのホームフォルダにファイルをリカバリすると、リカバリされたファイル/フォルダの所有者は現在のユーザーになります。
- **[既存のファイルを上書きする]**（ファイル/フォルダレベルのクラウドバックアップに対してのみ使用可能）：このオプションを選択すると、ハードディスクのファイルがバックアップのファイルと異なる場合、バックアップのファイルによって上書きされます。ファイルまたはフォルダのリカバリ時に、ファイルまたはフォルダの最近の変更内容を維持する場合は、**[Do not overwrite more recent files and folders]** オプションを選択します。

ディスクのクローン作成

ディスクのクローン作成ユーティリティ

通常のコピー処理では、新しいハード ディスク ドライブを古いハード ディスク ドライブとまったく同じように使用することはできません。たとえば、Finderを開いて、すべてのファイルとフォルダを新しいハードディスクドライブにコピーしても、macOSは新しいハードディスクドライブから起動しません。ディスクのクローン作成ユーティリティでは、すべてのデータを複製し、macOSを新しいハードディスクドライブでブータブルにすることができます。その結果、新しいディスクが古いディスクのクローンになります。

注意

ディスクのクローン作成ユーティリティは、SANDISK ブランドのストレージデバイスがシステムに接続されている場合のみ使用できます。

必要になる状況:

- 新しいiMacまたはMacBookを購入すると、macOSを含め、すべてのデータを古いMacから新しいMacへ転送する必要が生じる場合があります。
- そこで、Macのハード ドライブのポータブル クローンを外部ドライブに作成したいと考えます。この外部ドライブがあれば、任意のMacに接続して、ブートし、そのMacを以前のMacの正確なコピーにすることができます。

使用できるドライブ:

- Macの内蔵システム ドライブ(ソース ディスクとしてのみ使用可能)
- Macの内蔵非システム ドライブ
- 別のMacの内蔵ドライブ
- 外付けドライブ
- USB フラッシュ ドライブ

宛先ドライブがソース ドライブより大きかったり、小さかったりする場合、宛先ドライブのスペースに合わせてソース ドライブのパーティションのサイズが調整されます。唯一の例外は、パーティションが1 GB未満の場合です。そのようなパーティションはサイズ調整されません。

宛先ディスクとソース ディスクのサイズは同じである必要はありませんが、宛先ディスク全体のサイズはソース ディスクの使用済みスペースにその10%を加えたサイズより大きい必要があります。たとえば、Macのハードドライブが1000 GBであり、200 GBだけが使用されているとします。このクローンを作成するには、宛先ドライブのサイズは $200 + 10\% = 220$ GB以上である必要があります。宛先ドライブがこれより小さい場合は、ソースドライブから不要なデータを削除したり、データを外付けドライブまたはUSB フラッシュドライブに移動したりしてください。

ディスクのクローンを作成

通常のコピー処理では、新しいハードディスクドライブを古いハードディスクドライブとまったく同じように使用することはできません。たとえば、Finderを開いて、すべてのファイルとフォルダを新しいハードディスクドライブにコピーしても、macOSは新しいハードディスクドライブから起動しません。ディスクのクローン作成ユーティリティでは、すべてのデータを複製し、macOSを新しいハードディスクドライブでブータブルにすることができます。その結果、新しいディスクが古いディスクのクローンになります。詳細については、「[ディスクのクローン作成ユーティリティ](#)」を参照してください。

重要

Appleシリコン（M1、M2、M3、またはM4チップ）を搭載したMacのクローンを作成するには、最初にデータのクローンを外部ディスクに作成する必要があります。次に、データを外部ディスクから保存先のMacに転送します。

ディスクのクローンを作成する手順は、次のとおりです。

1. Mac で Parallels Desktop 仮想マシンを実行している場合、仮想マシンをオフにしてください。
2. ソースドライブとターゲットドライブが Mac に接続していることを確認します。別の Mac を接続する必要がある場合は、その Mac がターゲットディスクモードで接続していることを確認してください。詳細については、「[2台の Mac の接続](#)」を参照してください。
3. Acronis True Image for SANDISK を開きます。
4. サイドバーの [**ディスクのクローン作成**] をクリックし、**[続行]** をクリックします。
5. デフォルトでは、内蔵システムドライブがクローン作成元として事前に選択されています。これを変更するには、クローン作成元のアイコンをクリックし、クローン作成対象のドライブを選択します。
6. ターゲットドライブを接続します。

注意

APM ディスクはサポートされていません。APM ディスクを使用している場合は、GPT または MBR に変換することをおすすめします。

7. クローン作成先のアイコンをクリックし、クローンデータのターゲットドライブを選択します。

警告

クローン作成操作を開始すると、ターゲットドライブがフォーマットされ、保存されているデータがすべて完全に削除されます。ディスクが空であるか、重要なデータが含まれていないことを確認します。

8. [**クローン作成**] をクリックします。

Appleシリコン（M1、M2、M3、またはM4チップ）を搭載したMacの追加手順

1. クローン作成ディスクを保存先の Mac に接続します。
2. 保存先の Mac をシャットダウンしてから、起動オプションが表示されるまで**電源**ボタンを押し続けます。
3. macOS リカバリを設定するには、**[オプション]**をクリックします。
4. **[ディスクユーティリティ]**を選択します。ツールバーの**[すべてのデバイスを表示]**をクリックします。
5. Mac の内部ディスクを選択し、ツールバーの**[消去]**をクリックします。APFS 形式を選択し、消去を確認します。消去後、Mac は再起動します。
6. Mac を有効化します。その後、終了して**[リカバリユーティリティ]**を表示します。
7. macOS の再インストールを選択し、次の手順に従って macOS を内蔵ディスクにインストールします。
8. macOS を最初に起動したときに、システム設定を行います。
9. **[Migration Assistant]** ウィンドウで、**Mac、Time Machine バックアップ、または起動ディスクから**データを転送することを選択します。
10. **[情報をこの Mac に転送する]** ウィンドウで、クローン作成されたディスクを選択します。
11. **[転送する情報を選択]** ウィンドウで、表示されるすべての情報を選択し、パスワードを作成します。
12. Acronis True Image for SANDISK を Mac にインストールします。Acronis True Image for SANDISK がすでにインストールされている場合は、アンインストールする必要はなく、既存のバージョンの上に新しいバージョンをインストールするだけです。

何らかの原因でクローン作成処理が停止した場合は、処理をもう一度設定して開始する必要があります。データは消去されません。クローンの作成中に Acronis True Image for SANDISK によってオリジナルディスクやそこに保存されているデータが変更されることはありません。

Fusion Drive のクローン作成

Fusion Drive は、比較的低速なハードディスクドライブ (HDD) と高速なソリッドステートドライブ (SSD) を組み合わせたハイブリッドドライブです。Mac では、Fusion Drive は両方のドライブを合わせた領域を持つ単一の論理ボリュームとして表示されます。

Acronis True Image for SANDISK を使用すれば、Fusion Drive を Fusion Drive または他のターゲットドライブにクローン作成することができます。

Fusion Drive をクローン作成するには、次のようにします。

1. Mac で Parallels Desktop 仮想マシンを実行している場合、仮想マシンをオフにしてください。
2. ソースドライブとターゲットドライブが Mac に接続されていることを確認してください。不要な外付けドライブはすべて外します。
3. Acronis True Image for SANDISK を開きます。
4. サイドバーの**[ディスクのクローン作成]**をクリックし、**[続行]**をクリックします。
5. Fusion Drive をクローン作成ソースとして選択します。
6. ターゲットドライブを接続します。
7. クローン作成先のアイコンをクリックし、クローンデータのターゲットドライブを選択します。

複数のディスクがある場合は、**[Fusion Driveを作成する]** チェックボックスが表示されます¹。
Fusion Driveを作成する場合は、このチェックボックスをオンにしてから、2つのディスクを選択します。選択内容を確認します。

警告

クローン作成操作を開始すると、ターゲットドライブがフォーマットされ、そこに保存されているデータがすべて完全に削除されます。ディスクが空であるか、重要なデータが含まれていないことを確認します。

8. **[クローン作成]** をクリックします。

2 台の Mac の接続

ハードドライブのクローンを別の Mac に作成するには、ターゲット Mac がターゲットディスクモードで接続している必要があります。

ターゲット Mac をソース Mac に接続する手順は、次のとおりです。

1. ソース Mac とターゲット Mac の両方を起動します。
2. FireWire ケーブルまたは Thunderbolt ケーブルを使用してこれらの Mac を接続します。
3. ターゲット Mac で **[アップルメニュー]** > **[システム環境設定]** の順にクリックし、**[起動ディスク]**、**[ターゲットディスクモード]** の順にクリックします。
コンピュータを再起動すると、ソース Mac のデスクトップに新しいディスクアイコンが表示されます。この時点から、ターゲット Mac のハードドライブを通常の外付けドライブとして使用できます（クローン作成操作のターゲットドライブとして選択するなど）。
4. クローン作成操作が完了したら、ターゲットドライブのアイコンをゴミ箱に移動してターゲットドライブを取り出します。
5. ターゲット Mac をオフにし、ケーブルを外します。

¹（このオプションは、Appleシリコン（M1、M2、M3、またはM4チップ）を搭載したMacには使用できません）。

保護

注意

この保護は、Acronis True Image for SANDISK UI でのみ有効または無効にできます。アクティビティモニタまたは他の外部ツールを使って手動でプロセスを停止することはできません。

[保護] ダッシュボード

[保護] ダッシュボードには、統計データが表示され、保護ステータスの制御や保護設定へのアクセスが行えます。

[保護] ダッシュボードにアクセスするには、Acronis True Image for SANDISK サイドバーにある **[保護]** をクリックします。

ダッシュボードの **[概要]** タブでは、次の操作が行えます。

- Active Protection の状況に関する統計情報を表示する。
- 検疫された項目数と保護の除外数を表示する。
- 事前に設定した期間（30 分、1 時間、4 時間、再起動まで）、保護全体を停止します。これを行うには、**[保護の停止]** をクリックして期間を選択します。

注意

保護を一時停止すると、Active Protection が無効になります。

ダッシュボードの **[アクティビティ]** タブで、保護の状況および設定に適用した変更のログを表示できます。

Active Protection

コンピュータを悪意のあるソフトウェアから保護するため、Acronis True Image for SANDISK は Acronis Active Protection テクノロジーを使用します。

Active Protection は、コンピュータの通常運用中に常にチェックを行います。通常のファイルに加えて、Acronis Active Protection は、Acronis True Image for SANDISK アプリケーションのファイルおよびバックアップを保護します。

ランサムウェア対策保護

ランサムウェアはファイルを暗号化し、暗号化キーの対価を要求します。

ランサムウェア対策保護 サービスが有効な場合、コンピューターで実行されているプロセスがリアルタイムで監視されます。ファイルの暗号化を試みるサードパーティのプロセスを検出すると、ユーザーに通知され、プロセスを継続するかブロックするかを尋ねられます。

プロセスによるアクティビティの継続を許可するには、**[信頼する]** をクリックします。プロセスが安全で正当なものかどうか不明な場合は、**[検疫]** をクリックすることをお勧めします。クリックすると、プロセスは **[検疫]** に追加され、アクティビティがブロックされます。

プロセスのブロック後のファイルのリカバリ

プロセスのブロック後に、ファイルが暗号化されていないかどうか、または破損していないかどうかを確認することをお勧めします。暗号化されているまたは破損している場合には、**[変更されたファイルを復元する]** をクリックします。Acronis True Image for SANDISK は、リカバリする最新のファイルバージョンを次の場所から検索します。

- プロセスの検証中に前もって作成したファイルの一時コピー
- ローカルバックアップ

Acronis True Image for SANDISK が適切な一時コピーを見つけた場合には、それからファイルを復元します。復元する適切なファイルの一時コピーがない場合、Acronis True Image for SANDISK はバックアップコピーを検索し、両方の場所で見つけたコピーの作成日付を比較して、使用可能な暗号化されていない最新コピーからファイルを復元します。

注意

Acronis True Image for SANDISK は、パスワード保護されたバックアップからのファイルの復元をサポートしていません。

Active Protection の設定

ランサムウェア対策保護を構成する

1. Acronis True Image for SANDISK サイドバーの **[保護]** をクリックした後に、**[設定]** をクリックします。
2. **[Active Protection]** タブに移動して、**[ランサムウェア対策保護]** を有効にします。

有効にすると、ランサムウェア対策保護により、バックグラウンドで実行される有害な可能性のあるアプリケーションやプロセスからコンピューターが保護されます。

索引

(

(IntelベースのMacでのみ利用可能な) Mac
Power Napを使用するには 17

[

[アクティビティ] タブ 20

[バックアップ] タブ 20

[保護] ダッシュボード 37

2

2 台の Mac の接続 36

A

Acronis Tray Notification Center での通知 22

Acronis True Image for SANDISK では Parallels
Desktop 仮想マシンがどのように処理され
るのですか? 23

Acronis True Image for SANDISK とは 5

Acronis True Image for SANDISK のアップグ
レード 8

Acronis True Image for SANDISK のインストー
ルとアンインストール 7

Acronis True Image for SANDISKの有効化 8

Acronis の特許取得済みの技術 4

Acronis ブータブルメディア の作成 26

Active Protection 37

Active Protection の設定 38

B

Boot Camp パーティションに関する FAQ 30

F

Fusion Drive のクローン作成 35

M

Mac のリカバリ 28

Mac をリカバリするタイミング 28

macOS 通知センターでの通知 22

P

Parallels Desktopとは 22

Parallels Desktopのサポート 22

T

Touch Barとの統合 10

あ

アプリケーションの基本設定 9

き

キーボードショートカット 9

し

システム要件 5

す

スケジュール設定 16

て

ディスクのクローンを作成 34

ディスクのクローン作成 33

ディスクのクローン作成ユーティリティ 33

テクニカル サポート 11

と

どのように動作しますか？ 23

どの仮想マシンがバックアップされますか？ 23

は

はじめに 5

バックアップ 12

バックアップアクティビティと統計 20

バックアップとバックアップバージョンのクリーンアップ 18

バックアップの暗号化 17

バックアップの状態 24

バックアップの内容の検索 31

バックアップリスト 24

バックアップ可能な対象と不可能な対象 13

ふ

ファイルとフォルダのリカバリ 30

ファイルリカバリオプション 32

ブータブルメディアの作成 26

プロセスのブロック後のファイルのリカバリ 38

ら

ラップトップ電源の設定 21

ランサムウェア対策保護 37

り

リカバリ 28

リスト内でのバックアップの並べ替え 25

ろ

ローカルストレージまたはネットワーク
ストレージへのバックアップ 13

漢字

仮想マシンをリカバリするにはどうすればよい
ですか？ 23

基本的な概念 12

既存のバックアップをリストに追加する 18

制限 23

接続設定 19

著作権情報 4

通知 22

保護 37